

製品安全データシート

【製造者情報】

会社名 株式会社 善 管
広島県広島市中区本川町2丁目1-12 和光パレス21
担当部門 製品開発室 小林栄次
電話 082-291-1972
FAX番号 082-291-5061

2009.12.10改定

【製品名】 : ESC-EC

【主な用途】 : エスカレーター手摺り保護剤

【組成、成分情報】

単品、混合物の区別 : 混合物
科学名 : 水性ポリッシュ・ポリマータイプ
一般名 : 業務用樹脂ワックス

成分及び含有量

成分	化学式	CAS番号	化審法	安衛法	含有量
金属架橋型アクリルポリマー	: 社外秘	社外秘	社外秘		15.0~18.0
ポリオレフィンワックス	: 社外秘	社外秘	社外秘		1.0~3.0
アルカリ化溶性樹脂	: 社外秘	社外秘	社外秘		1.0~3.0
可塑剤（リン系）	: 社外秘	社外秘	社外秘		2.5~5.0
融合剤（カルピトール系）	: 社外秘	社外秘	社外秘		5.0~7.0
レベリング助剤	: 社外秘	社外秘	社外秘		微量
消泡剤、他	: 社外秘	社外秘	社外秘		微量
水	: H ₂ O	7732-10-5			残量

【危険有害性の要約】

有害性 : まれに目、皮膚、呼吸器を刺激する可能性がある。
環境影響 : 水域環境に対し、悪影響を及ぼすかもしれない
物理的科学的危険性 : 通常の手配では、火災の危険性は低い。
危険物分類の名称 : 分類基準に該当しない。

【応急処置】

吸入した場合 : 直ちに新鮮な場所へ移動させる。必要に応じて医師の診断を受ける
皮膚に付いた場合 : 多量の水及び石鹸で洗い流す。
目に入った場合 : 直ぐに流水で洗眼する（15分間）。
飲み込んだ場合 : 大量の水、牛乳などを飲ませて吐かせ、医師の診断を受ける。

【火災時の措置】

消化方法 : 該当せず。

【漏出時の処置】

- 人体に対する注意事項 : 屋内の場合は、処理が終わるまで充分換気を行う。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出されないように注意する。
- 除去方法 : 土砂、オガクズ、ウエスなどに吸収させて、密閉できる容器に回収
-

【取扱い及び保管上の注意】

- 注意事項 : 取り扱う場合は換気、通風下でおこなう。
- 保管 : 納入時の容器で保管し、直射日光を避け、密栓して冷暗所に保存する。
-

【暴露防止措置】

- 管理濃度 : 設定なし
- 許容濃度 : 設定なし
- 呼吸器用保護具 : 必要に応じて有機ガスマスク、アンモニア用マスクなどを使用する
- 手の保護具 : 必要に応じて耐薬品性の保護手袋を使用する。
- 目の保護具 : 必要に応じて保護眼鏡を使用する。
- 皮膚の保護具 : 必要に応じて保護服、保護長靴、保護前掛けを使用する。
-

【物理、化学的性質】

- 形状 : 液体、エマルジョン
- 色 : 乳色
- 臭気、 : 僅かに香料臭、アンモニア臭を伴う。
- pH : 8
- 粘度 : 3.50mPa-s
- 不揮発分 : 22.00%
- 比重 : 1
- 沸点 : 100℃
- 引火点 : 該当せず
- 蒸気圧 (mm Hg) : 0.01psl(at20℃)
- 水溶性 : 無限大 (100%)
-

【安定性及び反応性】

- 安定性 : 安定
- 反応性 : 適切な情報は得られていない。
- 避けるべき条件 : 凍結、高温、過剰な光、酸素
-

【有害性情報】

- 急性毒性 : 現在のところ知見なし
- 発癌性 : 発癌物質ではない
-

【環境影響情報】

移動性	: 水系へ移動しやすい。
残留性／分解性	: 適切な情報は得られていない。
生体蓄積性	: 適切な情報は得られていない。
生体毒性	: 適切な情報は得られていない。
魚毒性	: 適切な情報は得られていない。
その他	: 本製品100倍希釈のCOD : 1000mg/kg BOD : 540mg/kg

【輸送上の注意】	: 容器の漏れの無いことを確かめ、荷崩、落下、破損を防止すること 丁寧に扱う。
輸送の安全対策	: 水漏れ対策を施し、凍結や40℃の高温にならないように輸送する。

【主な適用法規】

化学物質管理促進法	: 非該当（報告義務なし）
労働安全衛生法	: 非該当
消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
廃棄物処理及び清掃に関する法律	廃棄物が多量となる場合は法規制に準拠して適切に処理を行う。

その他記載内容の問い合わせ先

株式会社 善 管 開発室 小林栄次
〒730-0802 広島市中区本川町2丁目1番12号
TEL (082) 291-1972

危険・有害性の情報は当社の最善の調査・評価に基づいていますが、含有量、物理化学的有害性等に関しては保証をなすものではありません。また、注意事項などは、一般的な取り扱いを対象としていますので、特殊な取り扱いの場合はご配慮願います。

尚、新たな情報を入手した場合には、追加訂正する場合があります。

本製品を他の化学物質と混合したり、特殊な条件で使用するときは、使用者側の安全評価を施して下さい。

化学製品の影響については個人差が大きく、その発症メカニズムも未だ解明されていませんしたがって体調の優れない方、アレルギー疾患、皮膚疾患、呼吸器系疾患、化学物質過敏症の方や疑いのある方の使用、及びこのような方の出入りが多い場合は、事前の打ち合わせな十二分な配慮を心がけて下さい。

改訂経歴 2009年12月 改訂